

# 釧路市中心市街地活性化協議会 第1回運営委員会議事録

日 時：平成 23 年 5 月 16 日（月）14：00～15：00

場 所：道東経済センター 5階 会議室

出席者：運営委員 8 名・(株)まちづくり釧路 2 名・支援団体 2 名・事務局 10 名・その他 3 名  
計 25 人 詳細別紙

## 次 第：1 開会

### 2 挨拶

### 3 議事

#### (1) 釧路市中心市街地活性化協議会提出議案について(資料1)

- ・ 平成 22 年度事業報告について
- ・ 平成 22 年度収支決算報告について

#### (2) 中心市街地活性化事業スケジュールについて(資料2)

#### (3) その他

### 4 閉会

## 1 開会

事務局より開会を宣す。

## 2 挨拶

### 《運営委員長》

6 月 13 日に行われる協議会に向け提出する議案の審議を行うが、この運営委員会は内容をより深くするために意見や提言をいただく場と考えている。審議する議案はまちづくりにとって重要な内容であると考えているので、忌憚のない意見をお願いしたい。

### 《事務局》

運営委員会規約第 4 条 2 項に則り、運営委員長を議長とし議事進行をお願いする。

## 3 議事

### (1) 平成 22 年度事業報告・収支決算報告について

#### 《事務局より説明》

別紙資料に基づき説明を行い、議場に諮ったところ、異議なく承認された。

## (2) 中心市街地活性化事業推進スケジュールについて

### 《タウンマネージャーより説明》

昨年12月に発足した研究会は、再開発組合まで移行する会であり、今後この研究会を主として勉強会を重ね段階的に進める予定で、9月には発起人会としたい。勉強会では事業数値目標の考え方、内容はどうかを講師を招いて勉強し、修正を重ねていく。

同時に地権者が求めていることは何かという点についても把握しておく必要があると考えており、調査が終わっていない地権者には再調査、同意を得ている地権者に対しては意向調査を行う予定としている。

また、旭町に大型店がオープンし、9月に市が動向調査を行う予定となっているので、それを踏まえて引き続き再開発の中身を協議する。

### 5月に行われた先進地視察について

【フラノ・マルシェ】観光客を中心街に入れ込むために、ふらのまちづくり㈱が主体となって昨年4月にマルシェを開設。施設内は農産物直売店、スイーツカフェ、土産店などが並ぶ。特徴としては、富良野産の商品で全面積を占めており、開設にあたって、市民らから8千万円を募った。

【マルヤマクラス】立地条件が良い。三菱地所、丸紅の共同主体。駐車場が190台と少ないが、地下鉄直結であるため、十分補うことができていると考えられる。

【イーアス札幌(東札幌ショッピングセンター)】大和ハウス工業㈱が主体。近くに競合店が並び苦戦。テナントを誘致する時にリーマンショックの影響を受け、テナントが決まらないこともあり苦労した。

### 質疑応答

#### 《委員 市民団体》

再開発について面積等は書いているが、事業費や事業計画はどのようなものを予定しているのか。

また、今年度の活動で最終的に達する目標は。

総事業費は60億円。詳しい事業数値については勉強会を重ねて妥当な数値などを計算し、修正していく。

再開発準備組合まで段階が上がれば、事業の幅も広がり、基本設計も進めやすいと言われているので、勉強会などを重ね、事業の見込みや数値目標を立てたい。釧路においては、時間が限られているのでスピード化を図りながら進めていく。《タウンマネージャー》

#### 《委員 市民団体》

イーアス札幌は苦しい状況であったということだが、サービス等においてどのように改善していったのか。

核となる店舗を見直し、テナントの入れ替えを行ってリニューアルを図った。《タウンマネージャー》

### (3) その他

#### 《支援団体》

3月に北見、旭川が中心市街地活性化法に基づく認定を受けた。中活法の施行から5年が経過し、成果が重視されている。成功まで達するのは厳しいが、報告にあったようにフラノ・マルシェは成功事例とされている。当機構では経済波及効果を算定し、約15億円の効果があったと計算している。

支援体制も変化し、勉強会・シンポジウムを合わせ「セミナー型」、診断を「プロジェクト型」とし、国の指針としては出来るだけ多く勉強会を開催し、それらを踏まえて診断を行うことで成功させることが求められている。

まちづくりのプランとして、大きなプランだけでなく、出来ることから始めることも大切である。成功事例に挙げられるフラノ・マルシェは大きなプランに向けて3～5年かけて、毎年小さいプランの計画・取り組みを行って目標に近づけることを徹底した。

釧路においても大きな視点と小さな視点両方を持って事業を進めてほしい。

#### 《支援団体》

「アドバイザー派遣制度」を開設し、まちづくり事業へのアドバイスや、商店街への派遣なども行っている。

### 質疑応答

#### 《行政》

富良野以外の進捗状況を教えて下さい。

稚内について 駅舎や映画館が完成。これからは福祉施設を建て、さらに再開発を進めていく。

北見について 認定を受けたところ。これから事業に着手する。

旭川について 丸井今井跡地についてはオープンに時間がかかっている状況。

滝川について 個別事業について支援。成果が上がらず引き続き支援が必要。空き店舗について岩見沢の事例を参考にしたい。

岩見沢について 最終的にポルタビルを市が買い取った。弁護士や税理士などが再生に向けて支援を続けた結果である。エリアマネージャーを置き、ビルの再生のマネジメント並びに中心市街地のマネジメントをできる人材を募集し、概ね見当をつけている。

砂川について 昨年病院がオープンし、コンビニ、バスターミナル、薬局が建てられ、

民間レベルではあるが、順調に進んでいる。

帯広について 年度内に仕上げなくてはならない状況。

小樽について 再開発事業は終わっている。丸井今井跡については進んでなく厳しい状況である。

事業を行った後は、フォローアップとして数値目標を達成できるよう支援を進めている。

《支援団体》

#### 4 閉会

事務局より閉会を宣す。

以上